

宗教情報データベース(ラク)にみる宗教の社会貢献活動の整理報告

0. はじめに

研究内容

「宗教の社会貢献活動研究」(『宗教と社会』学会および『科研費』)の一環として、宗教情報リサーチセンター(RIRC)の宗教記事データベースに収録されている記事の中から、宗教の社会貢献活動に関連する全記事タイトルを、過去3年分を目途に分析・整理する。

目的

宗教の社会貢献活動にはどのようなものがあるのか? 宗教・教団ごとに比較すると活動内容にはどのようなバリエーションがあるのか? 活動内容はどのように推移しているのか? といった諸特徴を明らかにすることが目的である。これは、今後科研プロジェクトを進める上で、どのようなテーマが研究対象となりうるのか、といった問題発見を目指したものである。

1. 調査概要

- 調査対象 検索画面をコピーしたもの。記事タイトル、媒体名、年月日のみが記載されている。
 調査数 2004年1月1日~2007年6月1日分の記事(2861件)
 (活動内容は2005年1月1日~2007年6月1日)
 調査方法 コーディング。SPSS。度数分布表+クロス表。
 調査期間 約1ヵ月半(2007年6月10日~2007年7月28日)ただし、3年分のデータが届いたのが2007年7月13日であるため(データ持ち出しの許可を得るのに時間が掛かったことによる)実質的な稼働期間は2週間程度である。

2. カテゴリー

表1 宗教名

宗教名1	宗教名2	内容
神社神道	神社神道	神社本庁、および単立神社に関わるもの。皇室神道、学派神道、民俗神道も含む。およびその関連団体。
既成仏教	奈良仏教系	俱舎宗、成実宗、三論宗、法相宗、華嚴宗、律宗など。およびその関連団体。
	天台系	天台宗、聖観音宗など。およびその関連団体。
	真言系	真言宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、醍醐寺派など。およびその関連団体。
	浄土系	浄土宗、浄土真宗本願寺派、浄土真宗大谷派など。およびその関連団体。
	禅系	臨済宗、曹洞宗、黄檗宗など。およびその関連団体。
	日蓮系	日蓮宗、法華宗など。およびその関連団体。
	その他(伝)	記事タイトルからは、7つのグループに分類できないもの。既成仏教全体を扱ったもの。
キリスト教	旧教	カトリック、およびギリシャ正教など。その関連団体。
	新教	プロテスタント、精霊派、福音派など。およびその関連団体。
	その他(キ)	記事タイトルからは上記2つのグループに分類できないもの。キリスト教全体を扱ったもの。

新宗教	仏教系新宗教	霊友会、立正佼成会、創価学会等の教団。 既成教団の再生運動的団体。および、外郭団体等の関連団体。
	神道系新宗教	天理教、世界救世教等の神道との関連の強い教団。 およびその関連団体。
	その他(新)	教派神道、日本発祥のキリスト教系新宗教、外国の新宗教、 道徳・修養団体、パイパー型新宗教、民俗信仰的新宗教など。 およびその関連団体。
その他	その他	特定の宗教を扱っていないもの。複数の宗教を扱ったもの。 記事タイトルからは宗教名が判然としないもの。

表2 媒体の分類

媒体名1	媒体名2	媒体名3
新聞	宗教専門誌	神社新報
		仏教タイムス
		中外日報
		文化時報
		キリスト新聞
		カトリック新聞
		クリスチャン新聞
		祭典新聞
		新宗教新聞
	全国紙	朝日新聞
		毎日新聞
		読売新聞
		産経新聞
		日本経済新聞
	地方紙	東京地方紙
		地方紙
その他	スポーツ紙	
	英字紙	
	その他の新聞	
雑誌		週刊誌
		隔週誌
		月刊誌

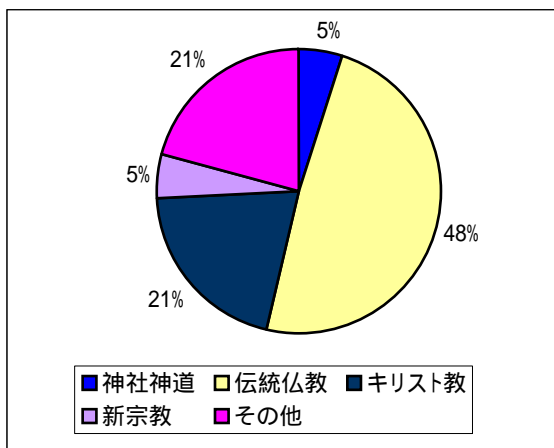
表3 活動内容の分類

分類	内容
学術・文化	市民講座、シンポジウム、出版、歴史、芸術、スポーツ
医療・福祉	病院、補完代替医療、健康促進事業、有機農法、児童福祉、障害者支援、アルコール依存症患者支援救貧、野宿者、寄せ場、高齢者福祉、ひきこもり、ハンセン病患者
平和・政治・市民権運動	反戦、反核、軍縮、憲法問題、歴史問題、人権、ジェンダー
寄付・奉仕	自治体や各種施設への寄付。被災地への援助、ボランティア派遣
地域貢献	地域再生、町おこし、防犯対策、火災予防安全、住民パトロール
国際活動	海外援助(開発援助、農業訓練、食糧援助、救援基金 etc)
環境活動	環境保全、動植物保護、植林、緑化運動
宗教活動	教誨、各種祈祷 供養、葬祭相談、伝道、いのちの電話、悩み事相談
その他の活動	上記のグループに分類されない活動

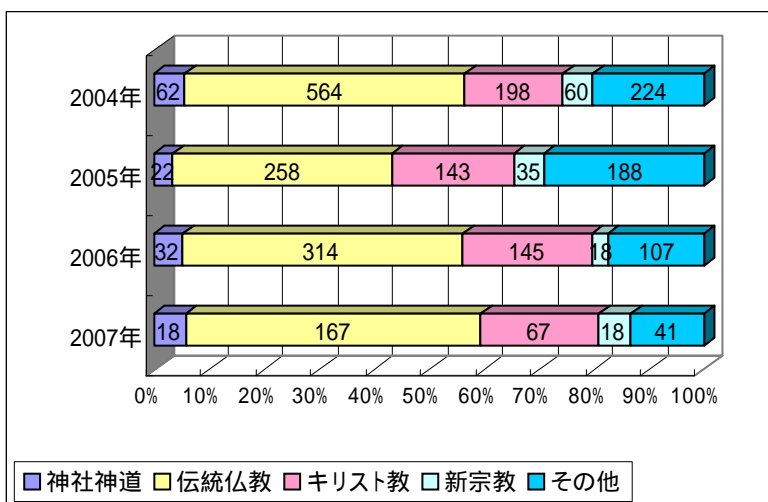
3. 結果とコメント

報道件数

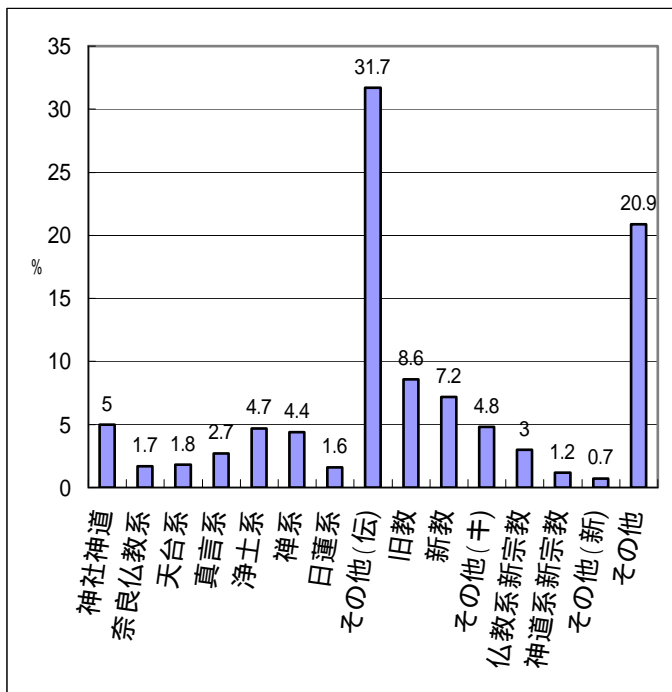
グラフ1 宗教の割合（全数）



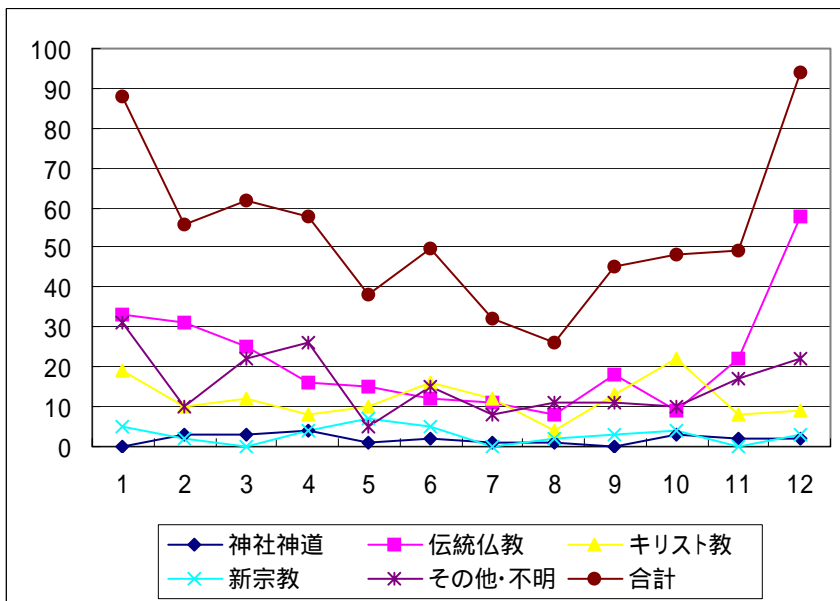
グラフ2 宗教の割合（年別）



グラフ3 宗教の割合（宗派別）



グラフ4 月別報道件数(2005)



- ・あくまで報道件数から見た場合、宗教ごとの社会貢献的活動は、「伝統仏教」、「キリスト教」、「その他」、「神社神道」、「新宗教」という順に件数が並んでいる。これは、年次別に宗教の割合を比較した場合も、替わらないパターンである。
- ・宗派別に報道件数を見た場合、宗派ごとの差はほとんどないといってよい。
- ・「その他(伝)」、「その他」の件数が多いが、これは、例えば「僧侶が浄財を寄付」、「お寺が地域に場所を開放」あるいは「宗教者がシンポジウムを開催」、「宗教者との対談」といったタイトルの記事が多いためである。
- ・月別報道件数に関して、報道件数は年始から徐々に減少し、年末にかけてまた増加するというパターンが見られる。ここでは、2005年のもののみ掲載したが、他の年の件数の変動もほぼ同じパターンで推移している。

活動

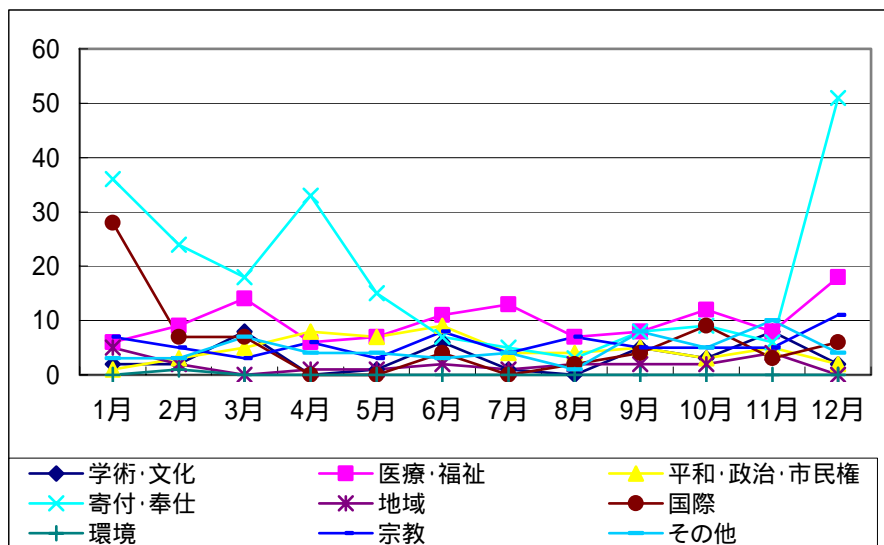
表4 宗教と活動内容

	神社神道	伝統仏教	キリスト教	新宗教	その他	合計(%)

学術・文化	16	78	26	3	28	151(9.6)
医療・福祉	10	118	150	5	69	352(22.4)
平和・政治・市民権	0	26	17	6	51	100(6.4)
寄付・奉仕	27	228	49	44	63	411(26.1)
地域	3	61	16	3	10	93(5.9)
国際	0	36	26	2	35	99(6.3)
環境	0	10	0	0	3	13(0.8)
宗教	13	118	32	5	33	201(12.8)
その他	4	64	39	3	43	153(9.7)
合計	73	739	355	71	335	1573(100)

- ・9つのカテゴリーの中では、「医療・福祉」(22.4%)、「寄付・奉仕」(26.1%)、「宗教」(12.8%)が多く。逆に、「環境」(0.8%)はわずかである。
- ・なお、「平和・政治・市民権」は報道媒体の政治的立場が明確に出ているといえる。つまり、宗教と「平和・政治・市民権」の関係を報道するのは、表2の「その他の新聞」に包括される「しんぶん赤旗」によるものがほとんどである。
- ・「その他」を除いた、4つの宗教カテゴリーの活動内容を見てみると、「神社神道」、「伝統仏教」、「新宗教」はいずれも、「寄付・奉仕」活動を行う件数が最多である。
- ・しかし、「キリスト教」に関しては、逆に、「医療・福祉」活動が最多である。「医療・福祉」は「寄付・奉仕」の3倍以上の件数である。

グラフ5 月ごとにみた活動内容(2005)



- ・時系列でみた場合、「寄付・奉仕」の変動が見られる。他の、項目は、ほぼ横ばいの状態である。「寄付・奉仕」の具体的内容を見ると、そのほとんどが「被災地への義捐金」や「歳末助け合い募金」であり、報道件数の動向もこの項目の影響を受けたものだと推測される。

記事タイトル

以下では、量的なデータをにもとづいたものではないが、発表者が記事タイトルに目を通す中で、各宗教に特徴的であるとの印象を受けた活動例をいくつか提示したい。発表者の専門である新宗教については、3年半分の全記事に登場した教団名とその報道件数記載するなど、やや詳しく紹介した。

表5 神社神道

記事タイトル	媒体名	日付
刑務所で大祓 本庁教誨師が奉仕 本庁の担当職員も奉仕	神社新報	2007/1/15
なら人形 起源に感心 いのちと心の講座 権宮司が開設 春日大社	読売新聞	2007/1/28
住民の協力で弓道場 西区の飯盛神社 流鏝馬継承拠点に	西日本新聞	2006/5/30
山の自然満喫 諭鶴羽神社に宿泊所	朝日新聞	2006/8/3
「宗教と社会」学会 宗教と社会貢献プロジェクトの発足について	神社新報	2006/9/25
京都ゑびす神社 現代版門前で特産PR	京都新聞	2006/10/19

・神社神道の社会活動について、神職による神社の歴史解説や参拝方法・作法の講座開催といった市民に対する日本の伝統文化や歴史の伝授、あるいは、祈願や大祓の出先活動など、神社神道の宗教実践の枠内に収まる範囲での社会貢献活動が目立った。逆に、野宿者、ひきこもり、障害者等のいわゆる「社会的弱者」への支援は、1例をのぞいて、ほとんどみられなかったといえる。

表6 伝統仏教

記事タイトル	媒体名	日付
バリアフリーダンスを開催 築地本願寺	仏教タイムス	2007/1/25
てらネットEN 仏教者が連携、引きこもり対策 寺は行き方見つける場	中日新聞	2006/10/22
介護老人福祉施設「ピハール本願寺」建設	中外日報	2006/10/24
テレホン法話心に響く 身近なテーマ優しい言葉で	京都新聞	2006/11/22
社説 お寺の奥さんが助言してくれた	中外日報	2005/9/29
曹洞宗 スリランカ支援でコンサート開く	読売新聞	2005/10/13

・伝統仏教の社会活動について、活動は多岐にわたっており、特定の活動が頻繁に報じられているというわけではない。そうした中で、ひきこもりの若者支援を行う住職の活動や、家庭内暴力の被害を受けた女性の駆け込み寺として寺院を開放する、という事例が印象的であった。また、寺院でカフェをオープンし、地域住民の社交場として利用してもらうという内容の記事が集中的に報じられている時期があった。妙心寺派が数回にわたって報じられることもあった。また、市仏教連合や仏教婦人会、仏教青年会等の関連団体が主体となって行われる活動も少なくなかった。

表7 キリスト教

記事タイトル	媒体名	日付
カリタスジャパン フィリピン泥流災害救助 基金受付中	カトリック新聞	2007/1/7
旧修道院を一般に公開	カトリック新聞	2006/4/23
日本カトリック児童施設協会「食卓は人間形成の場」食をテーマに全国会議	カトリック新聞	2006/7/16
語り合う(下)宗教と社会活動 神父 本多哲郎さん	朝日新聞	2006/9/5
長崎教区で「社会福祉講演会」講師 菊地司教 700人集う	カトリック新聞	2006/11/12
(こころ)カトリック鹿児島教会新司教 郡山健次郎さんに聞く 生きるための	南日本新聞	2005/12/15
横須賀基督教社会館 創立60年記念し式典 参列者500	キリスト新聞	2006/10/21
支える 08:30 チャプレン 末期患者・家族の心癒す	朝日新聞	2005/7/25

・上述したとおり「医療・福祉」関係の活動の件数が多い。障害者、アルコール依存症患者等のいわゆる「社会的弱者」への働きかけが目立ったが、中でも、寄せ場の日雇い労働者や野宿者に対する給食活動や就労支援は、特集を組んで定期的に報じられている。

・また、教会そのものではなくカリタスジャパンの活動が比較的多い他、「いのちの電話」にかかわる報道も少なくなかった。

表8 新宗教

教団名(131)	記事タイトル
仏教系新宗教	
立正佼成会(31)	立正佼成会 食平和基金 能登半島地震に見舞金三百万円
創価学会(16)	創価学会が300冊寄贈 龍郷町へ歴史書や文学書など
真如苑(16)	真如苑 入場料収益金を寄付
妙道会(3)	世界の子供を救おう 妙道会青年部が全国で街頭募金
妙智会(4)	妙智会教団 金色有功賞を受賞
霊友会(2)	霊友会青年部 ドットカム・DAY 地域の要望を踏まえ 全国一斉の奉仕活動
孝道教団(1)	岡野正貫(おかの・しょうかん=孝道教団統理) 悪をなさず、他を生かす
日本山妙法寺(3)	日本山妙法寺の平和行脚福山入り(野崎建一郎)
中山身語正宗(1)	市へ10万円の緑化寄付 中山身語正宗僧侶会
弁天宗(1)	弁天州御所協会が義援金25万円寄託 御所
大日然教(1)	記念祭を斉行 浄財を高齢者施設に
神道系新宗教	
天理教(7)	天理教少年会 歳末募金を寄付 読売光と愛の事業団
金光教(8)	募金3万円を寄付 歳末たすけあい 金光教飯田教会信徒会
大本(6)	大本の老人ホーム「ケアハウス朝野」設備・運営に大本色打ち出す
世界心道教(4)	豊川市に世界心道教 1千万円寄付
松緑神道大和山(14)	大和山 田澤教主32歳の誕生祭 補助犬への理解を訴える
世界救世教いつのめ(2)	世界救世教いつのめ教団 野菜・花の栽培にEM 環境浄化ノウハウも伝授
PL(1)	「病気・災害遺児に夢を」PL教団 釧路教会「あしなが募金」呼び掛け
その他の教団	
新宗連(7)	新宗連 動き 総支部 旧山古志村村長招き 真の復興学ぶ 北関東
円心教(3)	小学校舎寄贈し落成式 円心教がカンボジアで
モルモン教(2)	糸満市社協に 車いすを寄贈 末日聖徒イエス教会(糸満)
モラロジー研究所(1)	一步一步の精神を誓う 日本道経会奈良支部が総会
御嶽教(1)	「恵まれぬ子に」14万7084円を寄託 御嶽教
救世軍(2)	児童施設小遣いピンハネ公費から一部教会へ
SDA(1)	創立10周年で式典 社福法人三育ライフシャローム若葉
オウム真理教(1)	社会復帰、険しい道 元信者 教団に戻ることも
幸福の科学?(1)	新潟県中越時震源地レポートその(2)

- ・新宗教全体を通じてもっとも多いのは立正佼成会である。その多くは、「アフリカへ毛布を送る運動」その他の義捐金、募金活動を報じたものである。また、新宗教連合会青年部のボランティア活動も新宗教新聞によってしばしば報道される。
- ・報道媒体に関して、必ずしも「新宗教新聞」の報道が多いわけではない。「新宗教新聞」以外の宗教専門誌や地方紙によって報じられることの方が多いいえる。
- ・神道系新宗教に関しては、松緑神道大和山の報道件数が最も多く、そのすべてが「新宗教新聞」の報道によるものである。これは松緑神道大和山が新宗教連合会において果たす役割の大きさに起因しているものと推測される。
- ・また、仏教系新宗教については、創価学会、立正佼成会、真如苑、霊友会が報じられている。これらの教団が大教団であることから報道件数が多くなるのは納得のいくことである。だが、逆に、神道系新宗教に関しては、生長の家や宗教真光、神慈秀明会等の大教団・有名教団が全く報じられていない。それはなぜなのかということが疑問として残る。

表9 その他

記事タイトル	媒体名	日付
「R15」映画中学生見た「殺人場面怖い」「見るべきだ」	朝日新聞	2007/4/8
NGO・NPOと宗教結ぶ市民講座を開講 前8回	仏教タイムス	2006/1/26
人のつながり大切さ見える 藤里町で自殺予防に取り組む「心といのちを守	秋田魁新報	2006/9/15
33年ぶりに本人の顔に 上野公園 新ボードワン博士像	東京新聞	2006/10/5
超短波(阿蘇)	西日本新聞	2005/11/9

- ・「その他」は、記事タイトルからは宗教が特定できないものである。複数の宗教者がシンポジウムに集ったというものや、社会的話題が生じたときに宗教者からのコメントを掲載するというタイプのものにこれが多いといえる。
- ・また、活動内容そのものが不明な場合も少なくなかった。表9で言えば、「超短波（阿蘇）」がそれに相当する。

4. 疑問点と今後の課題

活動実数と報道姿勢の問題

データとして得られた報道件数が、社会貢献活動の実数を示しているのか、それとも報道姿勢の違いによるものなのか、作業全体を通じて疑問を払拭し得なかった。例えば、新宗教の活動の報道件数は全体の1割にも満たないが、それは、そもそも新宗教は社会貢献活動自体をさほど行っていないのか、それともメディアが新宗教の報道に慎重になった結果、報道件数としては数が少なくなっているのか、ということである（発表者は後者の可能性が高いと考える）。また、キリスト教は「医療・福祉」が多いということについても同じことが言える。「キリスト教は社会的弱者に救済の手を差し伸べるものだ」というイメージが報道姿勢にも現れたと考えられるからである。

宗教者にとっての「社会貢献活動」と研究者にとっての「社会貢献活動」

教団で社会貢献活動の話をする場合、宗教者側が伝えてくれる社会貢献活動は、本発表でいう「宗教活動」に属するものであることが少なくない（慰霊祭 浄化療法など）。これは、いくつかの神道系新宗教で聞き取りを行った発表者の実感である。「宗教活動」を社会貢献活動研究の中にどういちづけるか？

「学術・文化」、「医療・福祉」、「宗教活動」を詳細に見ると宗教ごとの特徴があらわれやすい。活動内容の中では「寄付・奉仕」が最も多かったが、むしろ「学術・文化」、「医療・福祉」、「宗教活動」を詳細に見た方が、宗教ごとの特色が現れるのではないだろうか。（例えば、なぜ、神社神道は、キリスト教ほど「社会的弱者」への支援を行わないのか？ なぜ、新宗教の宗教活動は社会貢献活動として認識されないのか？ など）

参考文献

- 石井研士, 1996, 「情報化と宗教」, 島薺進・石井研士編, 『消費される<宗教>』, 春秋社: 185-208
- 井上順孝・他編, 1994, 『【縮刷版】新宗教事典本文篇』, 弘文堂
- 跡田直澄, 1994, 「非営利セクターの活動と組織」, 本間政明編著, 『フィランソロピーの社会経済学』, 東洋経済新報社: 29-55
- 小島廣光, 1998, 『非営利組織の経営 日本ボランティア』, 北海道大学図書刊行会
- 弓山達也, 1994, 「現代日本の宗教」, 井上順孝編 『現代日本の宗教社会学』, 世界思想社: 93-130